

目次

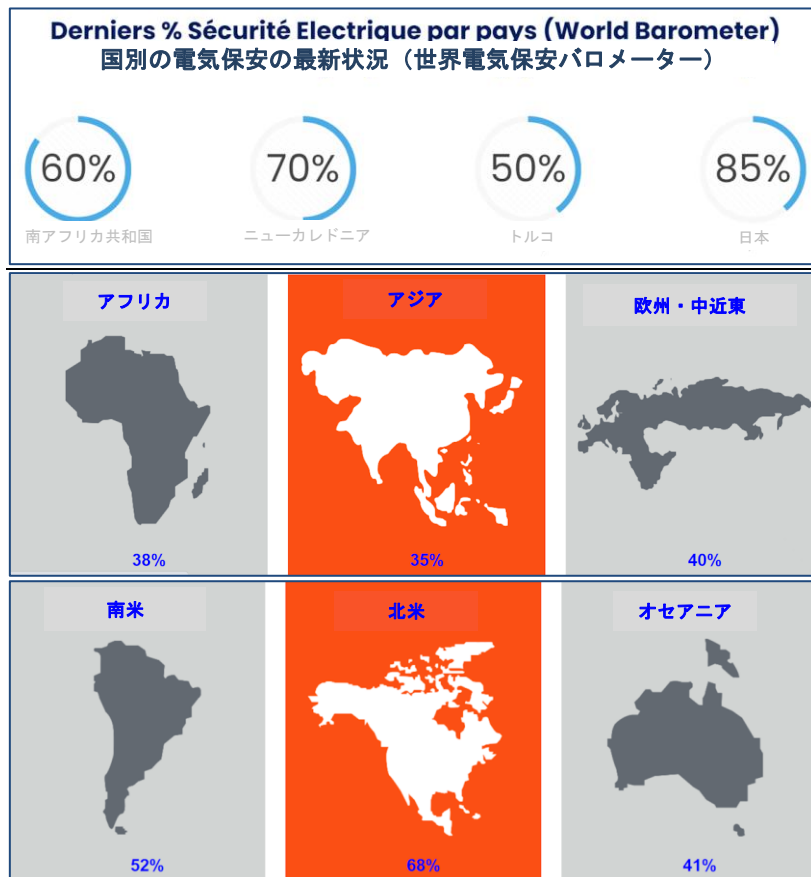
FISUEL からのお知らせ.....	1
COSSUEL（セネガル）：2020～2021 年度 活動報告.....	2
国境なき電気技師団（Electriciens sans frontières：レバノン）2021～2022 年度 活動報告と計画.....	4



FISUEL からのお知らせ

世界電気保安バロメーター ウェブサイト (WSB)：

最近発行のニュースレター第43号・第44号でもお知らせしましたとおり、世界電気保安バロメーター (WSB) のウェブサイトが、国際銅協会／ ECI (欧州銅協会) からFISUELに移管されました。その後、ニューカレドニアと南アフリカ共和国から、居住用建築物の電気設備の安全性評価質問票 (13項目) への正式なご回答をいただきました。両国以外にも、これまでに多くの国々からご回答をいただいています。WEBにまだご登録くださっていない国の方は、[WSB/barometer/contribute website](https://www.fisuel.org/WSB/barometer/contribute_website)にアクセスして是非ご登録ください。質問票もそちらでご入手いただけます。ニューカレドニアと南アフリカ共和国のご回答もお読みいただけます。地域別の電気保安の状況は下記のとおりです。これらの数字の精度を高めるためにも、質問票へのご回答に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。



COSSUEL（セネガル）：2020～2021 年度 活動報告



報告者：Mamadou Lamine Dia 氏（COSSUEL 常務理事、FISUEL 理事）

COSSUEL (セネガル電気利用者安全委員会：Senegalese Committee for Safety of Electricity Users) は、屋内電気設備の設計と施工に関する各種規則の遵守を確保し、人々の安全と財産を保護するための様々な研究や活動を計画し実施することを目的とする協会組織です。

1996 年、屋内電気設備の保安強化を目的として COSSUEL 協会が設立されました。セネガル国では、2017 年 6 月 8 日付の政令第 1333 号により、屋内電気設備の使用開始前に適合性確認を実施することが義務化されました。その後、2019 年 8 月 22 日付の政令第 022609 号でその実施規則が定められました。

これらの措置には、電気由来の事故を根絶しようという行政の強い意志が反映されています。

COSSUEL は、石油エネルギー省の承認のもとで、現行規格に基づく屋内電気設備の適合証明書の発行責任機関を務めています。

COSSUEL の組織体制

COSSUEL は、正会員と協会員のみで構成される協会組織です。

- 正会員：国家機関や全国的業界団体等の代表者

- 電気技師・工事士の全国的業界団体
- 全国企業連合（CNES）建設・公共事業連合会
- 全国経営者評議会（CNP）建設・公共事業連合会
- 全国商工会議所連合会
- 電気使用者を代表する国家機関
- 電力供給公社（SENELEC）

- 協会員：

- セネガル標準化協会（ASN）
- 国民保護局
- エネルギー省
- 手工業局
- 都市計画・建築局
- 建設住宅省
- 公益事業推進局（AGETIP）
- セネガル保険連合会
- CONSUEL（フランス）：COSSUEL と同様の外国機関
- 認証管理機関

法的地位

COSSUEL は、「民事・商事義務に関する法律第 68-08 号」（1968 年 3 月 26 日制定）に準拠する非営利団体です。法人番号 109831 号（1999 年 2 月 25 日付）で登記されています。

主な活動内容

COSSUEL の実際の活動内容は以下のとおりです。

- 電気設備適合証明書の書式販売
- 低圧電気設備の適合性点検
- 電気設備適合証明書の発行（認証）

COSSUEL の任務（ミッション）

COSSUEL は、以下の 3 つの役割（機能）を担っています。

- 施行中の規格や規制に対する適合管理
- 各種の屋内電気設備に関する研究調査
- 各種設備間の調和による安全規格遵守確保

COSSUEL が参加している取り組み：

- 屋内電気設備を扱う電気技師の業務品質の向上と強化を図る
- 点検後のアドバイスや提言を通じて、電気技師の職業的役割（機能）を高める
- 電気技師の意識向上を図り、教育訓練の必要性や組織的ニーズに対する理解を促進する
- 活動を通じて、人々や財産の安全強化を図る
- ユーザーにとっての快適性を確保する

その他の情報については、COSSUEL ウェブサイト (<https://cossuel.sn>) をご覧ください。



今後、電気の使用前に、COSSUEL の証明書が必要です。 ご存じですか？ セネガルの 93% の設備は、電気基準に不適合です。

方針 セネガル電力公社は、適合証明書がなければ電気を供給できません。



国境なき電気技師団（Electriciens sans frontières : レバノン）2021～2022 年度 活動報告と計画



国境なき電気技師団（Electriciens sans frontières）は、多様な企業や業界団体等とのパートナーシップを拡大し続けています。中でも、「持続可能な開発」と「国際的連帯」を社会的責任の重点取り組みテーマに位置付けたいと考える企業や団体がその中心的存在になっています。

FISUEL もその一員であり、国境なき電気技師団に対して誇りを持って支援しています。

「フランスの電気設備業界のご支援をいただけていることを誇りに思います。このパートナーシップは、言うまでもなく、電気設備業界の皆様が私たちの使命と活動をご支持・ご信頼くださっている証です。ご支援の一環として、高品質の設備をご提供いただいています。これにより、私たちが活動の軸として長い間堅持してきたテーマである「持続可能性」が保証されます。また、電気設備業界にとっても、この題材を通して国際的に高い認知度を得ることができます。」

Hervé Gouyet 氏（国境なき電気技師団 理事長）

経済的・気候的課題に直面しているレバノンの学校の回復力強化支援

電気が利用できなければ、治療を受けることも、良質な水を手に入れることも、勉強することも、経済活動も、街路の治安確保も困難になってしまいます。気候変動に対処しつつ、国民のエネルギー需要を満たすためには、再生可能エネルギーの利用が不可欠です。現在、エネルギーは、世界の温室効果ガスの約 50% を占める排出源になっており、気候変動の最大の要因になっています¹。

2020 年 8 月にベイルート港で爆発事故が発生し、その直後から、国境なき電気技師団は住民の電力ニーズに応えるための緊急介入を行いました。その任務の遂行中に、レバノン国内の複数の関係者からあることを要請されました。

「爆発の影響を受けた学校の中には、エネルギー供給や資金面が弱体化し、教育的使命を遂行できなくなる恐れにさらされている学校もある。こうした学校に安価な再生可能電化ソリューションを提供してほしい」という要請です。

この要請への回答として、国境なき電気技師団は、6 つの学校と研修施設の屋根に太陽光発電設備を設置することを提案しました。これにより、**電力需要関連コストを軽減**して経済的課題に対応するとともに、**発電機の使用抑制**を通じて環境面の課題にも対応できます。このプロジェクトにより、年間約 25,000 リットルの燃料節約につながり、学校の先生方や職員に加えて、約 15,000 人の生徒が最低 10 年間にわたって恩恵を受けることになります。

現時点で、プロジェクト対象校の 1 校目ではすでに設置が完了し運用を開始しており、2 校目では設置作業が進行中です。2022 年末までに構造物全般が電化され機能する予定です。

国境なき電気技師団について：電気と水へのアクセスにおける不平等と闘い、世界中の人々の経済的・人間的発展を促進する国際連帯型 NGO です。

<https://electriciens-sans-frontieres.org/>

次頁の写真（3 枚）提供：国境なき電気技師団および Florient Zwein 氏

¹ www.statistiques.developpement-durable.gouv.fr/edition-numerique/chiffres-cles-du-climat/7-repartition-sectorielle-des-emissions-de



Jessie Le Magoarou. Chargée de partenariats – Electriciens sans frontières. <https://electriciens-sans-frontieres.org/> 電話 : 0033 (0)1 84 21 10 48